

# 秘 書 課

## ○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を表彰し、市民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の実現に寄与するため、11月1日に伊勢市表彰条例に基づき第10回の表彰を次のとおり行った。

### 1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年伊勢地区地域審議会の代表として新市の一体感の醸成、地域の実情に応じた施策の展開ならびに課題の解決のため、献身的に尽力され市勢の伸展に寄与された（1名）
- ・ 多年二見地区地域審議会の代表として新市の一体感の醸成、地域の実情に応じた施策の展開ならびに課題の解決のため、献身的に尽力され市勢の伸展に寄与された（1名）
- ・ 多年小俣地区地域審議会の代表として新市の一体感の醸成、地域の実情に応じた施策の展開ならびに課題の解決のため、献身的に尽力され市勢の伸展に寄与された（1名）
- ・ 多年御菌地区地域審議会の代表として新市の一体感の醸成、地域の実情に応じた施策の展開ならびに課題の解決のため、献身的に尽力され市勢の伸展に寄与された（1名）
- ・ 多年地区自治会長として地域住民の福祉の増進に寄与された（1名）
- ・ 多年農業委員として地域農業の振興・発展および農業経営の向上に寄与された（1名）
- ・ 多年消防団活動に献身的に尽力された（3名）
- ・ 子どもたちの保育環境向上のため多額の御寄贈をされた（1団体）
- ・ 公益のため多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 伊勢市育英基金へ多額の御寄附をされた（2名）
- ・ 伊勢市文化振興基金へ多額の御寄附をされた（1名）
- ・ 多年人権擁護委員としての市民の自由人権思想の普及高揚に寄与された（1名）

### 2 伊勢市民スポーツ賞

- ・ 第99回日本陸上競技選手権大会女子5,000mで優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第65回全日本学生バドミントン選手権大会男子シングルスで優秀な成績を収めた（1名）
- ・ 第45回全国中学校バドミントン大会男子団体で優秀な成績を収めた（1名）

## ○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・ 旭日双光章 元町議会議員（地方自治功労）
- ・ 瑞宝双光章 元市代表監査委員（地方自治功労）
- ・ 旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）

- ・正六位 元市長（地方自治功労）
- ・従五位 元市議会議員（地方自治功労）

## ○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の興隆繁栄に寄与するため、次のとおり市長会が開催された。

### 1 全国市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
27. 6. 10	第 85 回全国市長会議通常総会 ①会務報告 ②平成 25 年度全国市長会決算報告について ③平成 27 年度全国市長会予算承認について ④各支部提出議案審議経過及び結果報告について ⑤決議案等審議 ⑥役員改選	東京都千代田区
27. 7. 15	全国市長会理事・評議員合同会議 ①役員等市長及び委員会の構成について ②決議・特別提言・重点提言・提言について ③諸会議の開催状況等について ④理事・評議員合同会議及び委員会開催要領（案）について	東京都千代田区

### 2 東海市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
27. 5. 20	第 120 回東海市長会通常総会 ①平成 26 年度東海市長会会務報告について ②平成 26 年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③平成 27 年度東海市長会歳入歳出予算について ④東海市長会会則の一部改正について ⑤提出議案の審議 ⑥決議案の審議 ⑦役員改選	静岡県御殿場市
27. 10. 29	第 121 回東海市長会通常総会 ①提出議案の審議 ②決議案の審議	岐阜県中津川市

### 3 三重県市長会

開催年月日	会議名（主な議題）	開催地
27. 5. 8	三重県市長会 5 月定例会議 ①三重県市長会平成 27 年度役員等の選任について ②三重県後期高齢者医療広域連合長候補の推薦について ③戦後 70 年に平和の尊さを伝える映画祭への協賛について ④東海市長会三重県市長会提出議案等について ⑤東海市長会総会について ⑥会務報告について	津市

27. 8. 4	<p>三重県市長会 8 月定例会議</p> <p>①平成 26 年度三重県市長会歳入歳出決算について</p> <p>②平成 26 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について</p> <p>③第 123 回東海市長会通常総会開催市の決定について</p> <p>④平成 28 年度県政要望について</p> <p>⑤第 121 回東海市長会通常総会要望について</p> <p>⑥第 121 回東海市長会通常総会の開催日程について</p> <p>⑦各団体からの市長会への要望等について</p> <p>⑧市長会の会務報告について</p>	津 市
27. 11. 5	<p>三重県市長会 11 月定例会議</p> <p>①平成 28 年度三重県市長会歳入歳出予算について</p> <p>②平成 28 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について</p> <p>③市長会の会務報告</p> <p>④全国市長会「執行体制のあり方に関する検討」への東海支部意見について</p> <p>⑤自治労三重県本部からの要請について</p>	津 市
28. 2. 1	<p>三重県市長会 2 月定例会議</p> <p>①三重県軽自動車税等事務共同処理協議会平成 28 年度業務委託契約締結について</p> <p>②三重県市長会役員等の改選について</p> <p>③東海市長会提出議案の取扱いについて</p> <p>④市長会の会務報告</p>	志摩市

# 情報調査室

## ○ 情報調査関係

### 1 公共施設マネジメント事業

平成 26 年 4 月に総務省から要請があった公共施設等総合管理計画の策定にあたり、外部委員 7 名で構成される伊勢市公共施設等総合管理計画検討委員会を下記のとおり開催した。また、パブリックコメント及び住民説明会を実施し、平成 28 年 3 月に『伊勢市公共施設等総合管理計画』を策定した。

#### (1) 公共施設等総合管理計画検討委員会実施結果

回数	実施日	内容
第 3 回	27. 4. 20	・今後のスケジュールについて ・前回の振り返り ・他市事例の紹介
第 4 回	27. 8. 7	・スケジュールの変更について ・伊勢市公共施設等総合管理計画（案）について
第 5 回	27. 9. 17	・伊勢市公共施設等総合管理計画（案）について
第 6 回	27. 10. 20	・伊勢市公共施設等総合管理計画（案）について
第 7 回	28. 1. 18	・パブリックコメント及び住民説明会の実施結果について ・第 6 回検討委員会以降の修正点について ・今後のスケジュールについて

#### (2) パブリックコメント実施結果

期 間 平成 27 年 12 月 11 日～平成 28 年 1 月 15 日

意見数 1 名

#### (3) 住民説明会実施結果

開催日 平成 27 年 12 月 21 日・22 日、平成 28 年 1 月 7 日・8 日

開催場所 市内 4 か所

参加者数 47 名

### 2 伊勢市人口ビジョンの策定

まち・ひと・しごと創生法第 10 条に基づき策定した地方版総合戦略「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎とするため、国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、伊勢市における人口の現状と将来の展望を提示する「伊勢市人口ビジョン」の策定を行った。

なお、策定に当たり調査分析等策定支援業務を株式会社百五経済研究所に業務委託した。

また、「伊勢市人口ビジョン」の周知を図るため製本印刷し、庁内及び関係団体に配布するとともに研修を行った。

- ・「伊勢市人口ビジョン」製本

作成部数 1,300 冊

・「伊勢市人口ビジョン」研修

日時：平成 28 年 3 月 23 日（水） 14 時～

場所：伊勢市観光文化会館 4 階 大会議室

内容：伊勢市人口ビジョンの説明

統計データなどを活用した政策立案研修

参加者：150 名

3 伊勢市市町村合併に関する市民アンケートの実施

市制施行 10 周年を迎えるにあたり、合併の成果を検証するとともに今後のまちづくりの参考とするため、アンケート調査を実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
27. 7. 15 ～27. 8. 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象 市内にお住まいの平成 27 年 4 月 1 日時点で 25 歳以上の方</li> <li>抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により 3,500 人を抽出</li> <li>調査方法 郵送による送付回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村合併をして良くなったと感じること、悪くなったと感じること</li> <li>伊勢市は住みやすいと感じるか</li> <li>伊勢市に今後も住み続けたいと考えるか</li> </ul> <p>等</p>	<p>回答数 1,686 人</p> <p>回答率 48.2%</p>

※アンケート調査項目については、企画調整課において設定した。

4 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
27. 9. 16 ～27. 10. 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象 市内にお住まいの平成 12 年 4 月 1 日以前にお生まれの方（平成 27 年度中に 16 歳以上となる方）</li> <li>抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により 3,500 人を抽出</li> <li>調査方法 郵送による送付回収</li> </ul>	<p>下記施策等に関することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民自治、国際交流、男女共同参画、人権</li> <li>生涯学習、スポーツ、文化振興</li> <li>生ごみ処理機の補助金制度</li> <li>生活困窮者自立支援制度、児童虐待、ドメスティック・バイオレンス</li> <li>防災、防犯、消防</li> <li>商業、観光、消費生活</li> <li>公園、河川、中心市街地</li> <li>広報活動</li> <li>伊勢市の住みやすさ</li> <li>取組み全体について</li> </ul>	<p>回答数 1,959 人</p> <p>回答率 56.0%</p>

## ○ 行政改革関係

### 1 行財政改革推進事業

#### (1) 行財政改革指針取組項目の進行管理

平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目（取組期間：平成29年度までの4年間）の進行管理を行った。

担当所属から平成26年度の実施結果を取りまとめ、伊勢市行政改革推進委員会及び市議会（各常任委員協議会）に報告した。また、この取組結果については、ホームページを通じ市民に公表した。

#### 第1回行政改革推進委員会

実施日 平成27年5月25日（月）

内 容 行財政改革指針に基づく取組項目の平成26年度実施結果について

#### (2) 窓口業務の民間委託

行財政改革指針取組項目の一つとして、平成27年1月から戸籍住民課窓口業務の民間委託を実施した。委託後4か月が経過した平成27年5月に戸籍住民課において窓口への来庁者719名に対してアンケートが実施された。アンケート結果は、「窓口サービスの全体的な評価」について、「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方が全体の97.4%であり、来庁者の評価が良好であることが確認された。

また、委託後1年が経過しての効果検証を行い、委託が概ね良好に行われていることを確認した。

#### (3) 市民サービス向上のための窓口業務等の改善

行財政改革指針取組項目の一つとして、市民サービスの向上を目指し、庁内に設置した窓口業務等検討会において、以下のとおり窓口業務等の改善に取り組んだ。

##### ① 手続きの簡素化（申請書の見直し等）

窓口業務等検討会で申請書の見直しの視点を整理し、窓口業務関係部署において申請書の見直しを行った。同時に、添付書類の省略、即日交付の実現、来庁以外の受付手段の提供についても見直しを行った。

##### ② 案内の充実（手続きご案内シート）

住民異動に伴う届出に関連する手続きをわかりやすく、漏れなく行っていただくために、7種類の手続きご案内シートを作成した。（転入、転出、転居、出生、おくやみ、結婚、離婚）

##### ③ 窓口環境の改善

庁舎改修を控え、市役所1階の案内表示等について管財契約課との意見交換を行った。

## ○ 統計関係

### 1 三重県人口推計調査（調査周期：毎月）

国勢調査による人口、世帯数及び年齢別男女数を基準に、住民基本台帳における異動を加減して、毎月の人口を推計した。

平成 28 年 3 月 1 日現在

世帯数	総人口	男	女
世帯 50,951	人 127,589	人 60,391	人 67,198

2 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

平成 27 年 5 月 1 日現在において、市内の公・私立幼稚園、小・中学校等の児童・生徒数、教職員数等を調査した。

なお、中学校については、卒業後の進路を、私立学校については、学校施設等をあわせて調査した。

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教 員 数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公 立	園・校 9	人 238	人 18	人 -
	私 立	10	933	91	-
小学校	公 立	24	6,592	439	57
中学校	公 立	12	3,480	270	37
	私 立	1	162	16	9
計		56	11,405	834	103

3 国勢調査（調査周期：5 年 所管省庁：総務省）

平成 27 年 10 月 1 日現在において、市内に常住するすべての者について、男女の別、出生年月、就業状態、従業地又は通学地、住居の種類など 17 項目について調査した。

国勢調査は、我が国の人口、世帯の実態を明らかにすることを目的として、日本に住んでいる全ての人及び世帯を対象に行われる、国の最も重要な統計調査である。この調査結果は、さまざまな法令により利用が定められているほか、福祉、防災、雇用など市のあらゆる政策に活用される。

今回の調査は、先にインターネット回答を受け付け、回答のなかった世帯に調査員が紙の調査票を配布して調査を行った。

人口速報集計（平成 28 年 2 月 26 日 総務省公表）

世帯数	総人口	男	女
世帯 50,936	人 127,868	人 60,475	人 67,393

※人口等基本集計の確報は、平成 28 年 10 月に公表予定

4 経済センサス - 活動調査（調査周期：5 年 所管省庁：総務省・経済産業省）

経済センサス - 活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を、全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とする。調査期日が平成 28 年 6 月 1 日のため、適正な実施に向け、平成 27 年度は諸準備を行った。

## 5 市勢統計要覧の作成

伊勢市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の基本的統計データを収録した「2015年版市勢統計要覧」を作成した。

また、e-Stat（政府統計の総合窓口）、みえのData Box（三重県所管の統計情報）からデータを取り出し、市ホームページで公開している伊勢市統計データベースを更新した。

## 6 統計調査員の推薦

各種統計調査を実施するにあたり、三重県に対して調査員の推薦を行った。

労働力調査 4名

毎月勤労統計調査 5名

## 7 統計調査員の確保対策

国が実施する統計調査に際して、統計調査員の選任が困難となっている現状を改善するため、あらかじめ統計調査員希望者を登録し、統計調査員を確保することを目的として、市ホームページ、チラシ等で募集を行った。

平成27年度登録者数 57名（平成28年3月31日現在 273名）



# 企 画 調 整 課

## 1 伊勢・渥美地域間交流の推進

伊勢志摩地域と渥美地域の将来を担う子どもたちの健全育成と両地域間の交流を促進するため、また市制施行 10 周年記念事業として位置付け、「伊勢・渥美スポーツ交流事業 第 10 回伊勢市長杯学童軟式野球大会」を伊勢地域において開催した。

開催日：平成 27 年 8 月 8 日（土）～ 9 日（日）

場 所：伊勢市倉田山公園野球場他（全 10 会場）

参加チーム：30 チーム（伊勢志摩地域：22、渥美地域：8）

## 2 伊勢市ふるさと応援寄附金

平成 20 年 4 月 30 日に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充（「ふるさと納税」の導入）されたことを受け、同年 7 月 4 日に「伊勢市ふるさと応援寄附金」制度を導入し、本年度も引き続き寄附の受入を行った。

- ・ 寄附受領件数： 589 件
- ・ 寄附受領金額： 27,944,828 円
- ・ 受領した寄附の目的別内訳

事業区分（活用先）	件数（件）	金額（円）
市政全般（指定なし）	220	4,671,000
市民自治・市民交流の活性化	5	50,000
教育の振興	72	920,000
環境の保全	125	1,481,000
医療・健康・福祉の充実	75	1,046,000
防災・防犯・消防の充実	14	200,000
産業・経済の振興	33	513,700
都市基盤の整備	13	140,000
具体的に用途を指定したい方（その他）	32	18,923,128
計	589	27,944,828

（注）複数の活用先を希望された方については金額が高いほうに、同じ場合は先に記載のあった活用先でカウントしています。

## 3 第 2 次伊勢市総合計画の進行管理

伊勢市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、様々なまちの課題の解決に向けて、市としてどう取り組んでいくかという方針を示すことを目的に、平成 26 年に策定した第 2 次伊勢市総合計画の進行管理を総合計画審議会における審議を経て実施した。

### 【伊勢市総合計画審議会】

#### (1) 委員

- ・構成 : 15名
- ・任期 : 平成26年4月30日～平成28年4月29日

#### (2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】27. 9. 7	・諮問 ・進行管理について	東庁舎 4-3 会議室
【第2回】27.10. 5	・進行管理について	東庁舎 4-3 会議室
【第3回】27.11. 4	・進行管理について ・答申について	本庁舎 4-5 会議室
27.11.16	・答申	—

## 4 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定

まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び県の総合戦略を勘案し、また「伊勢市人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服、持続可能な地域づくりを実現するため、平成27年10月27日、伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。策定にあたり、地方創生有識者会議における協議及びパブリックコメントを実施した。

### 【伊勢市地方創生有識者会議】

#### (1) 委員

- ・構成 : 15名
- ・任期 : 平成27年6月4日～平成27年10月27日

#### (2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】27. 6. 4	・委員委嘱 ・正副会長選出 ・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	委員会室
【第2回】27. 7.27	・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について	委員会室
【第3回】27. 8.27	・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について	東庁舎 4-3 会議室
【第4回】27.10.13	・伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について	委員会室

## 5 総合教育会議の開催

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議を開催し、また教育等の振興に関する施策の大綱を策定した。

### 【伊勢市総合教育会議】

(1) 構成

市長及び教育委員 5 名

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 27. 6. 16	・伊勢市教育等の振興に関する施策の大綱の策定について ・いじめ防止対策について	委員会室
【第2回】 27. 11. 17	・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を持った子どもの育成について	小俣総合支所 3階大会議室

6 市制施行 10 周年記念行事の開催

平成 17 年 11 月の 4 市町村による合併から 10 年が経過することから、市町村合併の検証を行うとともに、記念ロゴマークの作成、記念式典の開催等、市制施行 10 周年記念事業を実施した。

(1) 市制施行10周年記念事業

- ・「10 周年を記念し市民とともにこれを祝い、伊勢市への誇りと愛着を深める」 11 事業
- ・「地域の活性化や、連携・交流を促進する」 17 事業
- ・「伊勢市が持つ様々な魅力を掘り起こし、市内外に発信する」 11 事業

(2) 記念式典の開催

- ・開催日：平成 27 年 11 月 1 日（日）
- ・場 所：伊勢市観光文化会館 大ホール
- ・内 容：表彰（伊勢市民功労賞・伊勢市民スポーツ賞）  
ビデオ上映「映像で振り返る伊勢市の 10 年」  
小・中学生による「やさしいまち伊勢市」への提案  
市内中学校合唱部と来場者全員による「ふるさと」合唱

7 定住自立圏構想の推進

定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圈や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の 3 市 5 町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者 17 名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。

また、取組内容の拡充を図るため、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会における協議等を経て、定住自立圏形成協定の変更を行った。

【伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会】

(1) 委員

- ・構成 : 17名

・任期 : 平成27年4月1日～平成29年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 27. 5. 18	・委員委嘱 ・伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン変更案について ・圏域の現状と課題について	委員会室
【第2回】 27. 12. 3	・来年度の新規取組等について ・圏域の現状と課題について	東庁舎 4-3 会議室

【伊勢志摩定住自立圏推進協議会】

(1) 委員

・構成 : 各市町長 8 名

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 27. 12. 24	・伊勢志摩定住自立圏形成協定の項目追加について	三重県伊勢庁舎 4階 401 会議室

8 伊勢地区地域審議会

市町村の合併の特例に関する法律の規定に基づき、合併前の旧4市町村の協議により旧市町村の区域を単位として設置が定められた地域審議会のうち、旧伊勢市の区域に係る伊勢地区地域審議会を次のとおり開催した。

【伊勢地区地域審議会】

(1) 委員

・構成 : 19名 (うち公募委員4名)

・任期 : 平成26年7月1日～平成28年3月31日

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 28. 1. 21	・地域審議会の設置期間の延長について ・市町村合併の検証報告について	東庁舎 4-3 会議室

9 宮川流域連携

宮川流域ルネッサンス協議会(平成12年6月9日設立:1市6町、三重県、国関係機関、宮川流域案内人の会)に加入し、宮川の清流と地域風土にあった環境を守り、次世代に引き継ぐことに寄与する活動に取り組んだ。

【活動状況】

・宮川親子デイキャンプ(対象者:小学1～4年生の児童とその保護者)

開催日:平成27年7月25日(土) 場所:度会町

- ・宮川流域子ども川サミットin伊勢（対象者：小学5～6年生）  
開催日：平成27年8月19日（水） 場所：伊勢市
- ・宮川流域で植樹をしよう！  
実施日：平成27年11月29日（日） 場所：大台町
- ・宮川プロジェクト活動報告会  
開催日：平成28年3月13日（日） 場所：伊勢市
- ・水質チェックの実施  
実施日：平成27年5月～平成28年2月の最終日曜日 場所：宮川流域23箇所

## 10 広告掲載事業

伊勢市が所有する有形・無形の様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

- ・実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、  
じん芥収集車（ラッピング広告）、ごみカレンダー、指定ごみ袋、  
雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、  
伊勢フットボールヴィレッジ広告看板、庁舎モニター広告及びパネル広告
- ・収入金額：9,644,700円

## 11 シティプロモーション

伊勢市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指すシティプロモーションの方向性を定めるため、有識者7名で構成される伊勢市シティプロモーション懇談会、市内の団体及び大学生等が参加するワークショップ等を経て、「伊勢市シティプロモーション推進計画」を平成28年2月に策定した。

また、伊勢市シティプロモーション懇談会及びワークショップでの意見等を踏まえ、企画コンペにより伊勢市ロゴタイプデザイン制作業務の受託者を選定し、伊勢市ロゴタイプの制作を平成28年3月に行った。

### 【伊勢市シティプロモーション懇談会】

#### (1) 委員

- ・構成：7名
- ・任期：平成27年9月4日～平成28年3月31日

#### (2) 開催状況

開催日	内容	場所
【第1回】27. 9. 4	・委員委嘱 ・伊勢市シティプロモーションについて	東庁舎 4-3 会議室

【第2回】 27. 10. 7	・伊勢市シティプロモーションの基本方針について	東庁舎 4-3 会議室
【第3回】 27. 11. 11	・伊勢市シティプロモーション推進計画の案について	本庁舎 4-5 会議室
【第4回】 27. 12. 18	・伊勢市シティプロモーション推進計画の修正案について	東庁舎 4-3 会議室

【伊勢市のシティプロモーションを考えるワークショップ】

(1) 構成

参加者26名（団体8名、大学生8名、市職員10名）

(2) 開催状況

開催日	内 容	場 所
28. 1. 20	・伊勢市の地域資源およびロゴについて	伊勢市観光文化会館 4階 会議室

12 伊勢志摩サミット推進事業

伊勢志摩サミット開催に対する国・県からの要請に対して、支援と協力を行うとともに、官民連携によるおもてなしの取組や本市の魅力の情報発信を行った。

(1) 伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議

伊勢志摩サミットの円滑な実施を図り、もって本市の観光振興及び地域経済の活性化に寄与するため、伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議を設置し、またその下部組織としておもてなし部会、情報発信部会、安全対策推進部会を設置し、各種準備・調整を行った。

・調整会議開催状況

開催日	内 容	場 所
【第1回】 27. 6. 15	・伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議の設置について ・今後の進め方について	東庁舎 4-2 会議室
【第2回】 27. 7. 16	・伊勢志摩サミットにおける伊勢市の対応方針について ・伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議の設立について	東庁舎 4-2 会議室
【第3回】 27. 9. 17	・伊勢志摩サミットへの取組状況の報告 ・伊勢志摩サミット伊勢市庁内調整会議部会の設置について ・伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議の進め方について ・三重県伊勢志摩サミットに係る消防特別警戒について	東庁舎 4-2 会議室
【第4回】 27. 11. 4	・総務政策委員協議会への報告事項について	東庁舎 4-2 会議室
【第5回】 27. 12. 17	・伊勢市情報発信センター業務委託について ・伊勢志摩サミット地域連絡調整会議の報告 ・おもてなし部会・情報発信部会・安全対策推進部会の状況報告	東庁舎 4-2 会議室

【第6回】 28. 1. 26	・伊勢市情報発信センターについて ・クリーンアップ活動について	東庁舎 4-2 会議室
-----------------	------------------------------------	-------------

・部会開催状況

おもてなし部会	第1回	27. 12. 4
	第2回	28. 1. 26
	第3回	28. 2. 2
	第4回	28. 4. 5【予定】
情報発信部会	第1回	27. 9. 17
	第2回	27. 12. 21
	第3回	28. 4. 8【予定】
安全対策推進部会	第1回	27. 10. 16
	第2回	27. 12. 21
	第3回	28. 4. 20【予定】

(2) 伊勢志摩サミット開催に向けた取組

ア 懸垂幕の設置

伊勢志摩サミット開催が決定し、市民に広く周知するため市役所本館、観光文化会館に懸垂幕を設置した。

- ・設置期間：平成 27 年 6 月 29 日～平成 28 年 5 月 27 日【予定】

イ 職員セミナー「伊勢志摩サミットの対応と活用～観光・商業・ものづくりに活かしていくには～」の開催

伊勢志摩サミットの開催に向け、職員の意識向上、市の体制を整備するにあたり、有識者を講師に招き、職員セミナーを開催した。

- ・開催日：平成 27 年 9 月 4 日
- ・開催場所：いせ市民活動センター北館 2階多目的ホール
- ・参加人数：106 人

ウ カウントダウンボードの製作及び設置

伊勢工業高等学校の機械科、電気科、建築科の3科共同により、それぞれの専門技術を生かし、「伊勢らしさ、伊勢をイメージできるもの」として製作に取り組んでいただいた。伊勢志摩サミット開催 150 日前に市役所本館 1 階にてカウントダウンボード除幕式を執り行った。カウントダウンボードは、サミットが開催されるまで市役所本館 1 階に設置した。

- ・設置期間：平成 27 年 12 月 28 日～平成 28 年 5 月 27 日【予定】

エ 公用車に伊勢志摩サミット開催 PR 用マグネットを貼付

伊勢志摩サミット開催を広く周知するため、公用車 50 台に PR 用マグネットを貼付した。

- ・設置期間：平成 28 年 1 月 18 日～平成 28 年 5 月 27 日【予定】

オ 伊勢市情報発信センターの設置

伊勢志摩サミットの取材を予定している国内外のメディア等に、本市の魅力を伝え、自然や歴史、店舗、食、観光などの情報取材してもらい、情報発信を促進することを目的に開設した。情報発信センターでは、市独自のプレスツアーを行ったほか、市内の協力店

舗からなる「プレスサポーターズ～おもてなし 100～」を結成し、本市を訪れる国内外のメディア等に対して情報発信を行った。

- ・開設期間：平成 28 年 2 月 1 日～平成 28 年 6 月 15 日【予定】

#### カ 伊勢市駅前行灯の模様替え

外宮参道に設置されている行灯のうち、伊勢市駅前広場の 6 基について、サミット参加（日本及び EU を除く 6 カ国）をイメージしたデザインのものに取り替え、サミット終了まで駅前を彩った。材質は、伊勢市の伝統工芸品である伊勢和紙で、デザインに使用した写真は、宇治山田高等学校、皇學館高等学校の写真部の協力を得た。

- ・掲示期間：平成 28 年 3 月 25 日～平成 28 年 5 月 27 日【予定】

#### キ Wi-Fi の整備

伊勢志摩サミット開催により、本市を訪れる多くのメディア関係者や旅行者の利便性を向上するため、観光フリー Wi-Fi 「Summit Wi-Fi Ise」を整備した。

- ・設置場所：市内の 5 か所の観光案内所、手荷物預かり所（伊勢市情報発信センター 伊勢広報事務所）及び市役所本館
- ・運用開始日：平成 28 年 4 月 1 日

#### ク パネルの展示

市役所を訪れる市民に伊勢志摩サミット開催を広く周知するため、市役所本館 1 F エレベーター前にサミット及びサミット参加国を紹介するパネル展示の準備を進めた。

#### ケ 市立の小中学生に伊勢志摩サミット啓発グッズを配布

伊勢志摩サミット開催を広く周知し、未来に記憶を留めてもらうため、サミット開催 2 週間前に市立の小中学校の児童生徒に啓発グッズを配布するための準備を進めた。

- ・予定配布内容：小学生 定規・鉛筆（2 本）セット  
中学生 定規・シャープペンシルセット

#### コ 伊勢市ペットボトル入り水道水の PR

伊勢の水を PR するため、本市を訪れる国内外のメディア等に対して伊勢市ペットボトル入り水道水を配布するための準備を進めた。

- ・予定配布先：国際メディアセンター、警察・消防現地対策本部

### (3) 伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議

伊勢志摩サミットの開催を契機として、市民及び事業者の「おもてなし」の心を育むとともに、伊勢を訪れる方々を「おもてなし」の心を持って温かく迎えることにより、何度も訪れたい魅力あるまちにすることを目的として、平成 27 年 7 月 31 日、「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設立した。



# 財 政 課

## 1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分	当初予算額 27.3.20 議決	補正予算額			
		27.5.22 議 決	27.7.8 議 決	27.10.7 議 決	27.10.7 議 決
一 般 会 計	50,741,496	①16,575	②△8,917	③566,719	④94,467
特 別 会 計	国民健康保険	15,540,193			
	後期高齢者医療	2,777,287			
	介護保険	12,737,959	①0		②202,745
	住宅新築資金等 貸付事業	5,937			
	観光交通対策	482,086			①210,000
	土地取得	1,148,798			①31,692
	計	32,692,260	0	0	444,437
合 計	83,433,756	16,575	△8,917	1,011,156	94,467

補正予算額			継続費 遞次 繰越額	繰越 明許費 繰越額	予算総額
27.12.22 議 決	28.3.17 議 決	28.3.17 議 決			
⑤506,722	⑥△2,007,810	⑦807,269	540,072	1,307,331	52,563,924
①110,479	②10,648				15,661,320
①△3,566	②54,776				2,828,497
③5,624	④△507,512				12,438,816
	①8,109				14,046
	②26,031				718,117
	②△613,980				566,510
112,537	△1,021,928	0	0	0	32,227,306
619,259	△3,029,738	807,269	540,072	1,307,331	84,791,230

(注) ○内の数字は、補正の回数を表す。

## 2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

- (1) 普通交付税 9,865,881 千円
- ・ 基準財政需要額 22,602,981 千円

・基準財政収入額	14,321,643 千円
・交付基準額	8,281,338 千円
・交付決定額	9,865,881 千円
(2) 特別交付税	1,018,107 千円
・通常分	1,018,103 千円
・震災復興特別交付税分	4 千円

### 3 市債の状況

一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計における市債の借入れの状況は、次のとおりであった。

#### (1) 年度末現在高

会 計 名	平成 27 年度 末 現 在
一 般 会 計	51,398,486 千円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	12,536
計	51,411,022

#### (2) 借入状況（一般会計）

事 業 名	借 入 額	借 入 年 月 日	借 入 先	借入利率	備考
市 町 村 合 併 特 例 事 業 債	千円 155,000	28. 3. 30	市町村職員共済組合	% 0.10	
	320,000	28. 4. 20	市町村振興協会	0.20	
	27,700	28. 3. 25	市有物件災害共済	0.10	
	2,113,800	28. 5. 30	百 五 銀 行	0.25	
	921,100	28. 5. 30	〃	0.25	前借
	752,400	28. 5. 30	〃	0.23	借換
水 道 事 業 出 資 債	28,100	28. 5. 30	地方公共団体金融機構	0.20	前借
緊 急 防 災 ・ 減 災 事 業 債	189,500	28. 5. 30	百 五 銀 行	0.25	
	116,500	28. 5. 30	〃	0.23	借換
臨 時 財 政 対 策 債	2,180,000	28. 5. 10	財 務 省	0.10	
河 川 災 害 復 旧 事 業 債	4,600	28. 5. 10	〃	0.10	前借
計	6,808,700	—	—	—	

### 4 一般会計決算の状況

#### (1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

## ア 歳入

区分	平成 27 年度		平成 26 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 市 税	千円 16,933,911	% 32.8	千円 17,312,913	% 36.4	千円 △379,002	% △2.2
(1) 普通税	15,469,052	30.0	15,828,831	33.3	△359,779	△2.3
(2) 目的税	1,464,859	2.8	1,484,082	3.1	△19,223	△1.3
2 地方譲与税	358,187	0.7	340,493	0.7	17,694	5.2
3 利子割交付金	33,930	0.1	40,048	0.1	△6,118	△15.3
4 配当割交付金	115,466	0.2	140,121	0.3	△24,655	△17.6
5 株式等譲渡 所得割交付金	104,958	0.2	80,224	0.2	24,734	30.8
6 地方消費税 交付金	2,402,030	4.7	1,491,688	3.1	910,342	61.0
7 ゴルフ場 利用税交付金	16,938	0.0	15,583	0.0	1,355	8.7
8 自動車取得 税交付金	86,378	0.2	53,171	0.1	33,207	62.5
9 国有提供施設 等所在市町村 助成交付金	73,933	0.1	71,944	0.2	1,989	2.8
10 地方特例 交付金	69,152	0.1	69,665	0.1	△513	△0.7
11 地方交付税	10,883,988	21.1	10,909,560	23.0	△25,572	△0.2
(1) 普通交付税	9,865,881	19.1	9,943,969	20.9	△78,088	△0.8
(2) 特別交付税	1,018,107	2.1	965,591	2.1	52,516	5.4
12 交通安全対策 特別交付金	18,802	0.0	17,813	0.0	989	5.6
13 分担金及び 負担金	1,002,226	1.9	1,024,565	2.2	△22,339	△2.2
14 使用料及び 手数料	399,515	0.8	397,026	0.8	2,489	0.6
15 国庫支出金	6,856,578	13.3	6,040,265	12.7	816,313	13.5
16 県支出金	2,910,946	5.6	2,617,250	5.5	293,696	11.2
17 財産収入	125,573	0.3	156,967	0.3	△31,394	△20.0
18 寄附金	61,445	0.1	46,759	0.1	14,686	31.4
19 繰入金	50,893	0.1	167,451	0.4	△116,558	△69.6
20 繰越金	1,236,176	2.4	940,716	2.0	295,460	31.4
21 諸収入	1,085,663	2.1	945,334	2.0	140,329	14.8
22 市 債	6,808,700	13.2	4,653,300	9.8	2,155,400	46.3
歳入合計	51,635,388	100.0	47,532,856	100.0	4,102,532	8.6

イ 歳出（目的別）

区分	平成 27 年度		平成 26 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 議会費	千円 380,290	% 0.8	千円 360,487	% 0.8	千円 19,803	% 5.5
2 総務費	4,404,759	9.0	4,019,452	8.9	385,307	9.6
3 民生費	17,334,247	35.4	16,687,603	36.9	646,644	3.9
4 衛生費	4,601,084	9.4	4,341,109	9.6	259,975	6.0
5 労働費	59,598	0.1	84,230	0.2	△24,632	△29.2
6 農林水産業費	809,651	1.7	871,821	1.9	△62,170	△7.1
7 商工費	247,665	0.5	233,270	0.5	14,395	6.2
8 観光費	551,023	1.1	565,232	1.3	△14,209	△2.5
9 土木費	4,982,154	10.2	4,870,418	10.8	111,736	2.3
10 消防費	5,187,076	10.6	2,956,731	6.5	2,230,345	75.4
11 教育費	4,939,007	10.1	4,774,860	10.6	164,147	3.4
12 災害復旧費	29,079	0.1	6,339	0.0	22,740	358.7
13 公債費	5,391,828	11.0	5,425,128	12.0	△33,300	△0.6
14 諸支出金	0	0.0	0	0.0	0	—
歳出合計	48,917,461	100.0	45,196,680	100.0	3,720,781	8.2

ウ 歳出（性質別）

年度 決算 区分	平成 27 年度		平成 26 年度		比 較	
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 人 件 費	千円 7,720,102	% 15.8	千円 8,133,326	% 18.0	千円 △413,224	% △5.1
2 物 件 費	7,051,848	14.4	6,775,794	15.0	276,054	4.1
3 維持補修費	332,416	0.7	330,760	0.7	1,656	0.5
4 扶 助 費	10,027,719	20.5	9,707,498	21.5	320,221	3.3
5 補 助 費 等	3,201,038	6.5	2,733,132	6.0	467,906	17.1
6 普 通 建 設 費 事 業 費	7,633,139	15.6	4,646,134	10.3	2,987,005	64.3
(1) 補助事業費	2,435,648	5.0	1,735,986	3.8	699,662	40.3
(2) 単独事業費	5,085,596	10.4	2,793,344	6.2	2,292,252	82.1
(3) 事業負担金	111,895	0.2	116,804	0.3	△4,909	△4.2
7 災 害 復 旧 費 事 業 費	31,671	0.1	6,339	0.0	25,332	399.6
(1) 補助事業費	23,385	0.1	2,376	0.0	21,009	884.2
(2) 単独事業費	8,286	0.0	3,963	0.0	4,323	109.1
8 失 業 対 策 費 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	—
(1) 補助事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
(2) 単独事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
9 貸 付 金	5,540	0.0	5,489	0.0	51	0.9
10 公 債 費	5,391,828	11.0	5,425,128	12.0	△33,300	△0.6
11 投 資 及 び 出 資 金	57,800	0.1	122,655	0.3	△64,855	△52.9
12 積 立 金	139,270	0.3	202,841	0.5	△63,571	△31.3
13 繰 出 金	7,325,090	15.0	7,107,584	15.7	217,506	3.1
歳 出 合 計	48,917,461	100.0	45,196,680	100.0	3,720,781	8.2

エ 一般会計決算の市民1人当たりの額

(平成28年3月31日現在人口 129,353人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民1人 当たりの額
市 税	千円 16,933,911	円 130,912	消 費 的 経 費	千円 28,333,123	円 219,036
地 方 譲 与 税	358,187	2,769	人 件 費	7,720,102	59,682
利 子 割 交 付 金	33,930	262	物 件 費	7,051,848	54,516
配 当 割 交 付 金	115,466	893	維 持 補 修 費	332,416	2,570
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	104,958	811	扶 助 費	10,027,719	77,522
地 方 消 費 税 交 付 金	2,402,030	18,570	補 助 費 等	3,201,038	24,746
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	16,938	131	投 資 的 経 費	7,664,810	59,255
自 動 車 取 得 税 交 付 金	86,378	668	普 通 建 設 事 業 費	7,633,139	59,010
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	73,933	571	災 害 復 旧 事 業 費	31,671	245
地 方 特 例 交 付 金	69,152	535	失 業 対 策 事 業 費	0	0
地 方 交 付 税	10,883,988	84,142	そ の 他 の 経 費	12,919,528	99,879
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	18,802	145	貸 付 金	5,540	43
分 担 金 及 び 負 担 金	1,002,226	7,748	公 債 費	5,391,828	41,683
使 用 料 及 び 手 数 料	399,515	3,088	投 資 及 び 出 資 金	57,800	447
国 庫 支 出 金	6,856,578	53,007	積 立 金	139,270	1,077
県 支 出 金	2,910,946	22,504	繰 出 金	7,325,090	56,629
財 産 収 入	125,573	971			
寄 附 金	61,445	475			
繰 入 金	50,893	393			
繰 越 金	1,236,176	9,557			
諸 収 入	1,085,663	8,393			
市 債	6,808,700	52,637			
歳 入 合 計	51,635,388	399,182	歳 出 合 計	48,917,461	378,170

## 5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 12,213,789	千円 1,108,038	千円 13,321,827
減 債 基 金	現 金	1,161,156	890	1,162,046
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	782,645	17,547	800,192
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,559	3	10,562
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	438,891	6	438,897
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,988	2	7,990
地 域 福 祉 基 金	現 金	512,989	△32,543	480,446
災 害 援 護 基 金	現 金	106,443	2	106,445
中 山 間 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	47,416	34	47,450
河 川 環 境 基 金	現 金	10,179	2	10,181
育 英 基 金	現 金	12,697	13,350	26,047
文 化 振 興 基 金	現 金	177,244	1,524	178,768
地 域 振 興 基 金	現 金	3,429,935	2,162	3,432,097
景 観 形 成 基 金	現 金	434,580	△262	434,318
森 林 づ く り 基 金	現 金	1,524	1,074	2,598
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	0	76,513	76,513
職 員 退 隠 料 基 金	現 金	43,373	125	43,498
	貸 付 金	90	△90	0
計	現 金	19,451,408	1,188,467	20,639,875
	貸 付 金	90	△90	0

# 広 報 広 聴 課

## ○ 広報いせ発行事業

「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

(広告掲載件数：193件、収入金額：2,510,000円)

広報紙	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	20	53,550	伊勢市制施行10周年記念 吉本新喜劇&バラエティショー、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）が始まります、水道料金を値下げします
5月1日号	46	53,500	対談 広げよう！伊勢に音楽文化を、平成27年度当初予算、ふるさと未来づくりを推進しています、平成27年度に行う下水道工事、元気なうちから始めましょう！介護予防
5月15日号	16	53,500	伊勢市制施行10周年記念 第63回伊勢神宮奉納全国花火大会、臨時福祉給付金（簡素な給付措置）を支給
6月1日号	36	53,600	特集 伊勢市の観光誘客の取り組み、全国菓子大博覧会・三重を開催！、ご存知ですか？障害者差別解消法、伊勢まつり、大雨に備えよう
6月15日号	14	53,550	男女共同参画週間、健康文化週間における健康づくり事業、市税・公課を滞納すると滞納処分されます！
7月1日号	48	53,600	特集 シンポジウム「伊勢神宮の式年遷宮を語る」、お伊勢さんプレミアム付商品券の予約申し込み方法、伊勢のママさんの安心子育てをお手伝いします！、勢田川七夕大そうじ、特定健康診査を受けましょう
7月15日号	24	53,550	伊勢市制施行10周年記念 ラジオ体操・みんなの体操会、伊勢志摩サミット開催決定！！、夏休み親子施設見学会、福岡ヤフオク！ドームで伊勢市のPRを行いました、2015中日三重お伊勢さんマラソン
8月1日号	32	53,650	対談 一戦争体験を語る一戦後70年、後世に伝えたいこと、臨時福祉給付金、伊勢市オリジナルご当地婚姻届・出生届を制作、非核・平和第37回空襲展、市職員・消防職員を募集、地籍調査について、福祉医療費受給資格証が更新されます



8月15日号	16	53,600	救急・災害を考える集い、伊勢市出身 尾西美咲選手が世界陸上2015北京に出場、伊勢総合病院職員を募集
9月1日号	40	53,650	対談 伊勢の伝統の能楽を受け継ぐ、マイナンバーが通知されず、国政調査を実施します、伊勢市民芸能祭、幼稚園・保育所などの入園・入所児を募集、伊勢神宮奉納全国花火大会、家具固定をしましょう、下水道の日、防災の日・防災週間、自殺予防週間
9月15日号	16	53,600	動物愛護週間、「平和の鐘」を一斉鐘打、子どもの教育に関する悩みは…一人で悩まず相談を
10月1日号	36	53,650	対談 伊勢の味覚 蓮台寺柿、環境フェア&福祉フェスティバル、防災市民協働プロジェクト「どすこいMOB」に参加を！、JABA伊勢・松阪大会、軽自動車税の税額変更のお知らせ、おおまつりウィーク
10月15日号	16	53,600	伊勢市制施行10周年記念式典、ストップ！障がい者・高齢者虐待、伊勢市制施行10周年記念 尾崎行雄特別展、いせ出会い支援センターがオープン!!
11月1日号 ※伊勢市制施行10周年特集号	44	53,650	特集 伊勢市制施行10周年、新伊勢総合病院の基本計画がまとまりました、マイナンバー通知カードを受け取ってください、平成28年度から適用される税制改正、秋の全国火災予防週間、公民館講座 寄せ植え教室、11月は児童虐待防止推進月間、広島平和記念式典参加中学生24人の思い
11月15日号	18	53,600	伊勢市制施行10周年記念事業 伊勢市産業フェア、伊勢市制施行10周年記念事業 障がい者雇用促進シンポジウムin伊勢、伊勢病院ふれあい祭り、バスの利用促進にさまざまな啓発事業を実施
12月1日号	44	53,650	対談 誰もが自分らしく暮らせる自立と共生のまちを目指して、伊勢市制施行10周年記念式典を開催しました、「人口ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました、「伊勢市手話言語条例」を制定しました、ママ安心サポートいせ、伊勢の観光は今、みえ地震対策の日
12月15日号	12	53,600	伊勢市制施行10周年記念 NHK津放送局開局75周年記念 にほんごであそぼ元気コンサートin伊勢、年末年始の業務案内
1月1日号	24	53,650	新春のごあいさつ、伊勢志摩サミット開催に向けて、マイナンバーの利用が始まります！、禊橋が完成しました
1月15日号	18	53,600	お伊勢さん菓子博2017シンボルマーク・ロゴマーク・公式キャラクターが決定！、いせファミリー・サポート・センターで子育てのお手伝いをしませんか？、放課後児童クラブの利用児童を募集

2月1日号	32	53,650	対談 僕たち、おいしいイチゴ栽培中！、国勢調査の結果をまとめました、認知症の相談と早期対応のチームができました、美し国三重 市町対抗駅伝、各種委員が決まりました
2月15日号	16	53,600	伊勢市消防本部庁舎・伊勢市防災センターが完成
3月1日号	36	53,650	対談 犯罪・非行をした人たちの立ち直りを目指して、住所異動・証明書交付の手続きはお早めに！、春の火災予防運動、軽自動車税の税率が変わります、女性のための健康づくり、いせ市民活動フェスティバル
3月15日号	16	53,600	消防・防災フェスタ いせ、4月から市の組織が一部変わります、おかげバスに乗って買い物に行こう！、もうすぐ桜の季節です
4月1日号	40	53,650	対談 輝け！伊勢の若者！世界で活躍中！西本拳太選手インタビュー、障害者差別解消法が施行されます、伊勢市シティプロモーション推進計画を策定しました、市役所本庁舎の改修工事を実施します、東北被災三県からのメッセージ

## ○ CATV広報いせ放送事業

特集番組とお知らせ番組に分け、地域に根ざした行政情報番組を制作し放送した。特集番組については、タレントをリポーターとして起用し、分かりやすい番組づくりに努めた。平成24年から開始したケーブルテレビ放送終了後のYouTubeへの掲載も継続して行った。

このほか、企画調整課と共同で市制施行10周年記念番組を制作し、行政放送で放送した。

○特集（毎月1日更新）

放送回数1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タイトル	内容
4	平成27年度に行う主な事業の紹介	市長が平成27年度の事業について語る。
5	住宅の耐震化を進めよう！ ～木造住宅の無料耐震診断&耐震補強工事等の補助制度～	木造住宅の無料耐震診断と耐震補強工事等の補助制度を紹介。
6	おかげバスデマンドのご利用を	タクシー車両による予約制のデマンド運行を行っている「おかげバスデマンド」を紹介。
7	伊勢市水防訓練	平成27年6月7日に開催した伊勢市水防訓練の様子を紹介。
8	岡っ引き やすが行く！ ～ごみの分け方・出し方探訪ノ巻～	岡っ引きのやすさんが、伊勢市のごみの分け方と出し方についてレポート。

9	岡っ引き やすに来た！ ～国勢調査ノ巻～	平成27年10月1日付けで行われた国勢調査を岡っ引きのやすさんが広報。
10	ふるさと未来づくり ～まちづくり協議会の取り組み～	中島学区まちづくり協議会と大湊未来づくり委員会の活動を紹介。
11	伊勢総合病院の基本設計の概要	平成30年に開院を予定している伊勢総合病院の建設基本設計について案内。
12	夜間の交通事故防止	自動車の前照灯、色別着衣の見え方、反射材の効果の実験を行い、夜間の交通事故防止の注意点を解説。
1	平成28年市長インタビュー	市長が、これまでの取り組みや今後の市政運営などについて語る。
2	伊勢市の地籍調査	伊勢市における地籍調査の進捗状況と、ご協力のお願について案内。
3	さくらをめぐる歴史	尾崎弔堂記念館、宮川堤、旧豊宮崎文庫をめぐる、桜にまつわる市内の歴史や文化について、紹介。

○伊勢市テレビ広報『絆』（毎週土曜日更新）

放送回数 1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内容
4	お知らせ まちの話題 (活性化活動事業補助金募集 など)
5	お知らせ まちの話題 (春の全国交通安全運動 など)
6	お知らせ まちの話題 (健康づくりアドバイザー養成講座 など)
7	お知らせ まちの話題 (花火大会について など)
8	お知らせ まちの話題 (伊勢市職員の募集 など)
9	お知らせ まちの話題 (臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金申請受付 など)
10	お知らせ まちの話題 (伊勢まつり など)
11	お知らせ まちの話題 (市民芸能祭 など)

12	お知らせ まちの話題	(年末年始パーク&バスライド など)
1	お知らせ まちの話題	(介護予防講演会 など)
2	お知らせ まちの話題	(いせファミリー・サポート・センターの利用について など)
3	お知らせ まちの話題	(住所異動の手続きをお忘れなく など)

## ○ インターネット情報発信事業（伊勢市ホームページ関係）

伊勢市ホームページのトップページにバナーズライドを配置し、ビジュアル面の改良を行ったほか、ページ構成の見直し作業を進め、ウェブアクセシビリティに準拠したページとなるよう努めた。また、職員向けにアクセシビリティおよび操作研修を行った。

- ・ページ数…4,196件（平成28年3月31日現在）
- ・トップページ（ホーム/伊勢市）ビュー数  
（平成27年4月1日～平成28年3月31日）…1,425,705件
- ・広告件数  
7事業所・46口・489,000円（10,000円×36口、12,000円×7口、15,000円×3口）
- ・アクセシビリティ研修開催  
日時 平成27年11月30日（月）  
午前の部 午前10時00分～正午 19部署22名  
午後の部 午後1時30分～3時30分 22部署24名

## ○ 市民相談の実施

毎月、市役所広報広聴課相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、毎月、二見生涯学習センター、小俣公民館において行政相談を実施した。

相談名	実施日	相談担当者
法律	毎週月曜日 午後1時30分～3時30分（先着8名）	弁護士 5名
行政	毎月第2火曜日 午後1時～3時 （二見生涯学習センター） 毎月第3火曜日 午後1時～3時 （広報広聴課相談室） 毎月第4火曜日 午後1時～3時 （小俣公民館）	行政相談委員 5名

人 権	毎月第2木曜日 午後1時～4時	人権擁護委員 16名
登 記	毎月第2火曜日 午後1時～4時	県司法書士会伊勢支部会員 12名
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～3時（先着4名）	NPO法人交通事故被害者支援センター相談員 1名
公 証	毎月第1木曜日 午後1時～4時	公証人 1名

(単位：件)

項目	区分						
	法 律 相 談	行 政 相 談	人 権 相 談	登 記 相 談	公 証 相 談	交 通 事 故 相 談	計
登 記	16	0	0	21	1	0	38
家 庭	60	0	2	0	0	0	62
相 続	83	0	0	17	20	0	120
金 銭	70	0	0	0	0	0	70
土 地	51	0	0	7	1	0	59
福 祉	2	1	0	0	0	0	3
交通事故	4	0	0	0	0	11	15
そ の 他	127	5	1	1	1	0	135
合 計	413	6	3	46	23	11	502

## ○ 出前トークの実施

市民の視点に立った市政の推進を図るため、市の取り組む事業や施策などについて、市民からの依頼を受け、幹部職員などが直接地域へ説明に出向き、質疑応答や意見交換を通じて、これからのまちづくり等について共に考えるふれあい出前トークを実施した。

実施回数 8回 テーマ マイナンバー制度について

申込人数 400名

## ○ 市民の声システム・市政への提案箱

市民ニーズや意見・要望等を把握し、政策立案に結びつけられるようにするため、市民の声登録システムを有効活用し、また、市政への提案箱、窓口などでも意見を集約した。

(市政への提案箱設置場所)

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、福祉健康センター

(単位：件)

部	件数	受付方法		
		市政への 提案箱	インター ネット	その他
総務部	21	11	10	0
危機管理部	10	1	9	0

情報戦略局	38	10	28	0
環境生活部	28	16	12	0
健康福祉部	21	7	14	0
産業観光部	18	0	18	0
都市整備部	47	9	38	0
検査室	0	0	0	0
会計課	0	0	0	0
二見総合支所	0	0	0	0
小俣総合支所	1	1	0	0
御菌総合支所	0	0	0	0
上下水道部	1	0	1	0
教育委員会	29	7	21	1
議会事務局	1	0	1	0
選挙管理委員会事務局	1	0	1	0
監査委員事務局	0	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0	0
伊勢総合病院	2	1	1	0
消防本部	1	0	1	0
計	219	63	155	1
市民の声対象外	7	3	4	0

## ○ 報道機関への情報提供

報道機関との連絡を密にするため、月1回（8月を除く）市長の定例記者会見を実施した。また、適宜市政の情報を提供し、広報活動の充実に努めた。

## ○ 情報提供のガイドライン

市民と市との行政情報の共有を一層進めるため、「情報提供のガイドライン」に基づき、市民が知りたいであろう行政情報や、市が市民に知ってほしい情報、市民が入手することにより官民協働のまちづくりが期待できる情報などを市のホームページで提供している。

- ・ガイドラインに基づき提供している行政情報

市の基本計画、パブリック・コメントの状況、主要事業の概要、市長記者会見資料、市議会提出案件に関する資料、審議会・委員会などの資料、市の財政状況や予算・決算に関する資料、人事・給与に関する資料、イベント情報など15項目

- ・ガイドラインに基づく提供情報件数（平成28年3月31日現在）…1,697件